

＜平成 30 年度中総体報告会にて＞

入賞を果たした女子卓球部の皆さん。そして県大会出場を果たしたNさんおめでとうございます。そして今各部の報告にあったように中総体にむけて精一杯臨んだ皆さんお疲れ様でした。どの部も報告の中に支えてくれた人たちに対して感謝の気持ちが表れていたことは素晴らしいと思います。目標としていた結果が残せなかったかもしれませんが、皆さんは多くのものを得たことに気づいてください。

「勝っておごらず、負けて悔やまず」という言葉があります。剣道でも勝者がガッツポーズをすることは反則とされています。勝敗以上に相手から学ぶ姿勢を大切にしているからです。

中総体を振り返ってください。壮行式で話した3つの気について相手の様子はどうだったでしょう。元気の面、大きな声は出ていましたか。勇気の面、失敗を恐れない挑戦する姿勢はどうだったでしょう。根気の面、最後まであきらめない粘り強さはどうだったでしょう。そして、仲間をささえるチーム力はどうだったでしょう。チームは一人一人の力を伸ばすこともできるし、足を引っ張ることもできます。中総体ではいろいろなチームから多くのことを学べたはずです。

イソップ物語のウサギとカメのお話しを知っていると思います。結果はカメが勝利します。カメは本当に勝利できると思っていたのでしょうか。なぜ負ける可能性が高いのに競争を断らなかったか考えたことはありますか。

この話には、こんな続きがあります。結果が不服だったウサギが、カメにレースを再挑戦したのです。カメは同じように快く受け入れました。

ウサギは家へ帰り、お母さんに言いました。

『僕のほうが速いんだよ！眠ってなかったら僕が絶対勝ってたんだ！』

母ウサギはそれを聞いて次のように言いました。

『そう。偉いわね。』 ウサギ『そうでしょ！ぼく偉いでしょ！』

母『偉いのは、カメさんの方よ』

ウサギ『え？なんで？』

母『今度はカメさんと、泳ぎで勝負してごらんなさい。』

ウサギ『泳ぎでだってのろまなカメに、僕が勝つに決まってるよ！』

レース当日、カメは得意の泳ぎでぐいぐいウサギを突き放し、あっけなく勝負に勝ち、にこにこ微笑みながらこう言いました。

『良かったら、ウサギさん、また勝負しようね。』

ウサギは家に帰り、泣きながらお母さんに言いました。

『わーん！カメさんずるいよ！水の中だったら、あっちの方が得意に決まってるじゃないか！』

すると母ウサギは言って聞かせました。

『カメさんはね、いつでもただ自分の出来る限りの精いっぱい努力をしているだけなのよ。その勝負が自分に有利とか不利とか、そんなことはカメさんには関係ないのよ。あなたもカメさんを見習って、頑張らなきゃね。』

ウサギとカメがまったく違う方向を向いていたのに気づきましたか。

『ウサギはカメだけを見ていました。しかし、カメはゴールの先を見ていたのです。』

人それぞれには、得意、不得意というものがあります。他人と比較するのではなく、見るべきは、自分自身なのです。自分の人生は、過去も未来も、自分だけのものなのです。他人と比較して喜んだり、SNSで「いいね」をもらったりしても意味がありません。本当に大切にすべきなのは、自分が納得して生きるということです。今回の中総体の経験もこれからの自分の人生に生かしてください。

10日後には中間テストがあります。1年生にとっては初めての定期テストになります。小学校と違い、自分の将来に直結する大事なテストです。何点をとるかだけでなく、いかに勉強に向き合うか。努力をするかが大事です。皆さんのこれからの頑張りに期待し挨拶とします。